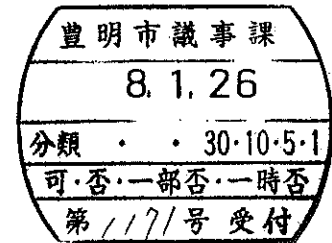


<参考>様式第4号

令和8年 1月26日

豊明市議会議長 殿



研修会・講演会等参加報告書

議員名 鈴木 智和

令和7年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日付	研修先	研修項目及び成果等
令和8年1月20日	豊明市役所 4階 第1委員会室	<p>本研修では、「なんでもハラスメントにしてしまう社会？」をテーマに、AI・SNSが普及した現代社会におけるハラスメントの考え方や、議員として留意すべき点について学んだ。</p> <p>本市には既にハラスメント防止に関する条例が制定されているが、今後、議員向けのハラスメント防止の在り方を検討していくにあたり、その前提として「ハラスメントとは何か」を正しく理解することを目的に、本研修が実施された。</p> <p>研修では、ハラスメントについて、加害者の意図ではなく、受け手がどう感じたかが判断の基準となること、また立場や権力性のある者ほど、無自覚のうちに加害者となる可能性があることについて、あらためて理解する機会となった。</p> <p>また、近年の法令改正や社会的背景として、個人の人権意識の高まりや世代間の価値観の違い、SNS等による情報拡散が、ハラスメント問題をより身近なものにしている現状について説明を受けた。</p> <p>議員は公人として、議会内外での発言や日常の言動が市政全体への信頼に影響を及ぼす立場にあることから、より一層の注意が必要であると感じた。</p>

		<p>さらに、パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントに加え、AI・SNSによる誹謗中傷や、世代・ジェンダー・ライフステージに起因するさまざまなハラスメントの事例が示され、「これまでは問題とされにくかった言動であっても、現在では受け止め方が大きく変化している」という点は、議員活動を行う上でも重要な視点であると考えさせられた。</p> <p>今回の研修を通じて、今後の議員向けハラスメント防止の検討に向けた基礎的な理解を深めることができたと感じている。</p> <p>今後は、他自治体の取り組み事例等も参考にしながら、本市の実情に即した議員向けハラスメント防止の在り方について、検討を深めていきたい。</p>
--	--	--

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。